

ニュースから考える

自民党の総裁選で安倍総理が勝利し現状の路線が続きそうです。第一期安倍内閣は体調不良などにより366日に終わり、退陣に際し小泉元総理曰く「人生には三つの坂がある。」・「のぼり坂」、「くだり坂」、そして「まさか」である。



自身の後任である安部総理が突然辞任したのは「まさか」としか云えない。」と驚いていました。

それから十数年・総裁選告示の前日6日に北海道全域で想像もしなかった「まさか」が起きました。

大きな台風が通過した翌日に地震が起こり、さらに主要な発電所が震源地となるなど偶然に偶然が

重なり日本初のブラックアウトが発生、その後の回復までの道のりは皆さんがご存知の通りです。

とはいえ・幸運な事も我が家にはありました。ガスボンベの買置きがあり、ガソリンも入れたばかりと良い偶然もあり、多少の不自由で済みました。

私たち北海道民と一部の旅行客は予期しないブラックアウトで困惑しましたが、未だに多くの人々が被災生活を強いられ、まだ被災地域や観光地では通常の風景に戻るには時間がかかりそうです。

とはいえ・企業にとっては売上の回復が遅くなることは致命的になります。自社のみではなく経済全体を考えると自粛ムードもそろそろ終わりにする必要がありますね・。

1分でわかる業務カイゼン

「日頃の備え」

今回の停電では私たち自身油断があった事は認めなければなりません。すぐ復旧すると高を括



っていました。・いつまでたっても復旧せず・物資が足りなくなるとの不安からコンビニ、スーパー、ガソリンスタンドなどに行列が出来ました。

日頃からの「まさか」への備えは大切ですが電気、水道に次ぐインフラとして身近にある「コンビニ」の重要性も感じました。また、今回の停電が真冬ではなかったという事で最悪のシナリオにならなかったのは不幸中の幸いでした。

「足りない・・・」

いつも同じ話で恐縮ですが・中小企業では、いつも「ヒト、モノ、カネ」といった経営資源が不足しています。今回の停電では、私たち一人一人「人」が「カネ」の大切さ、「モノ」不足の不便さを感じたのではないのでしょうか。

企業は儲けを少しずつ積みかさねる事で「カネとモノ」を増やせます。しかし、「ヒト」は採用したからと言ってすぐには戦力にはなりません。彼らが育つまでは人手不足の状態は解決されないのです。

「カネとモノ」が乏しい中でも中・長期を考え「人」を育て続ける必要があります。

「ブラック？」

先日、ある税理士の会で一人一人が近況を発表

する場面がありました。「お客さんが増えない」、「人が来ない又はすぐ辞める」との二つの悩みに集約され税理士業界も一般企業と同じ悩みを抱えています。



その席上、札幌では成長著しいと言われている税理士から衝撃的な発言がありました「開業して 11 年、ついに新入社員ばかりになって大変だ・・・」との事です。その事務所にとっては「まさか」に直面です。

つまり、開業から 11 年たって定着した人が一人もいない、育てては辞めると言う悪循環に陥っているのです。給与水準や残業時間などが「ブラック」なのか、日頃の「笑顔」が仕事時では別人

なのかの判断はつきませんが、時間を割いて教育した 11 年間の財産の蓄積「人財」が何も貯まっていないのは厳しい現実です。

結局、税理士事務所だけではなく全ての企業にとって従業員が定着しない事は損失でしかありません。

経営は、常に厳しい「上り坂」と悲しい「下り坂」の連続です。それに「まさか」がやってくるのですから・・・経営者にとって企業経営とは「坂」との闘いだといっても過言ではないでしょう。

いつか大切に育てた「人財」が嬉しい「まさか」を運んでくると信じたいですね・・・。

事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。

今月の経営のヒント : 誰のために「事業」をやっていますか



今月のことば

男子は生あるかぎり、理想をもち、

理想に一步でも近づくべく坂をのぼるべきである。

(坂本 龍馬)

編集後記:

今回の停電では当事務所は手稲駅前であり当日の明るい内に復旧しました。数キロ先の自宅も 1 時間程度で復旧すると思いましたが・・・24 時間以上後の復旧でした。しかし札幌以外ではさらに数時間後に復旧した所も多かったようです。今回の停電では電源消失により在庫がダメになる寸前だった、被災地に近いため売上が回復しない、風評によりなかなか観光客が来ないために売上が低迷など本当に困っている会社が未だにあります。一日でも早く「まさか」からの回復を願っています。(寿)

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合 (TKC が証明するデータを使用しています)

最近 1 年間 : 73.7%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は 33.2% (28 年 4 月 ~ 29 年 3 月) です)